

# 安全

## 2.1. 新規褥瘡発生率

### 算式

【分子】 分母対象例のうち、入院中に新たに「DESIGN-Rでd2以上」又は「NPAUP分類でステージⅡ以上」に該当する褥瘡が発生した患者数

【分母】 新入院患者数

### 定義

入院患者における新規褥瘡の発生割合

### 指標の解説

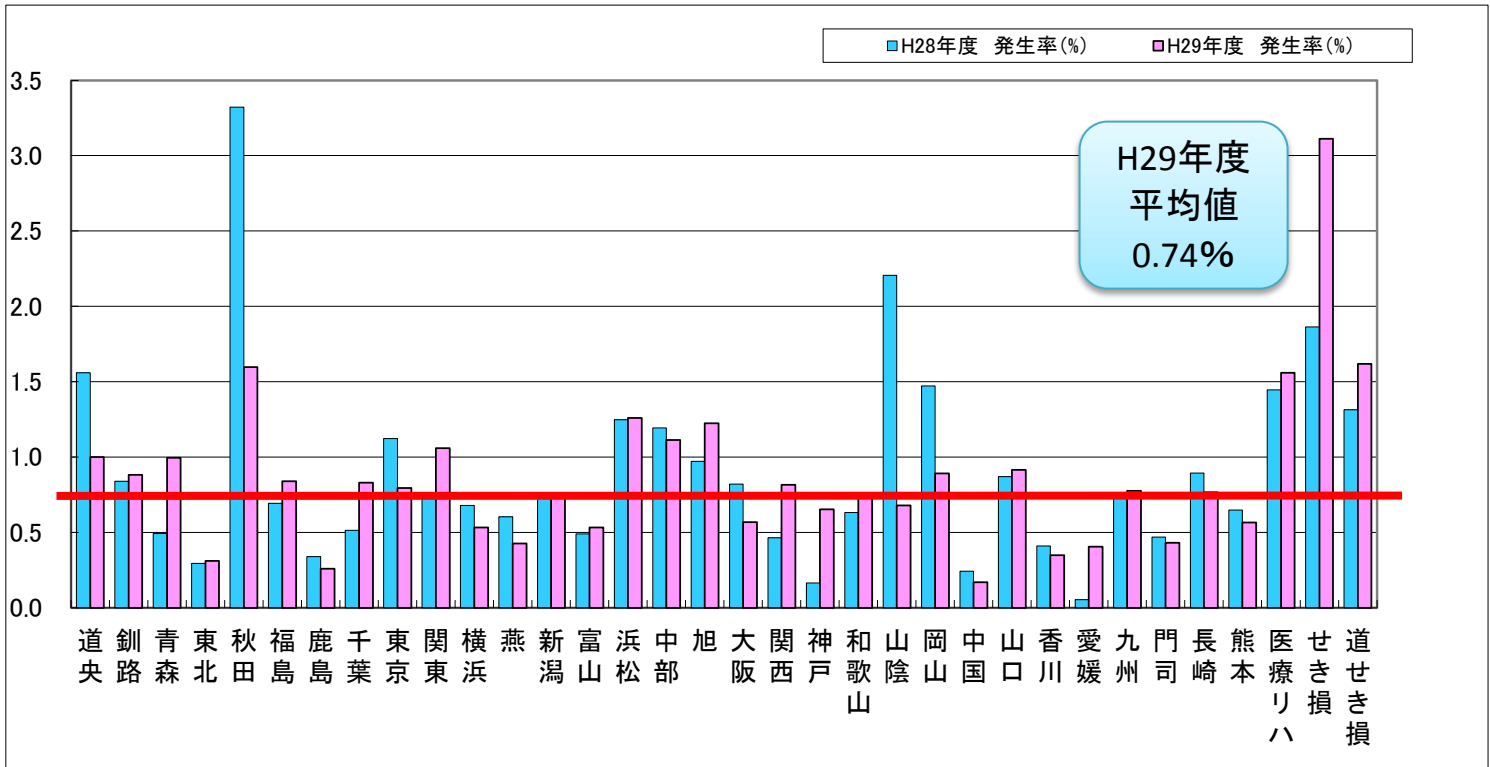
施設調査より抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、病院での褥瘡予防の取組みについて褥瘡の発生状況から評価する。

褥瘡は、患者のQOLの低下により、在院日数の長期化や医療費の増大につながる。褥瘡対策は、医療の重大な項目のひとつに取り上げられ診療報酬にも反映されている。

発生率が低い場合には、患者のQOL向上に積極的に取り組むとともに、効率的な医療を提供していると評価できる。

## 2 1. 新規褥瘡発生率



No	施設名	H28年度			H29年度		
		分母	分子	発生率(%)	分母	分子	発生率(%)
1	道央	2,952	46	1.56	2,911	29	1.00
2	釧路	8,587	72	0.84	8,621	76	0.88
3	青森	4,065	20	0.49	4,016	40	1.00
4	東北	11,225	33	0.29	11,538	36	0.31
5	秋田	2,047	68	3.32	1,817	29	1.60
6	福島	5,626	39	0.69	5,353	45	0.84
7	鹿島	1,176	4	0.34	771	2	0.26
8	千葉	11,090	57	0.51	10,954	91	0.83
9	東京	7,573	85	1.12	7,929	63	0.79
10	関東	15,721	116	0.74	15,390	163	1.06
11	横浜	18,682	127	0.68	18,785	100	0.53
12	燕	3,152	19	0.60	3,279	14	0.43
13	新潟	3,401	26	0.76	2,158	16	0.74
14	富山	3,665	18	0.49	3,938	21	0.53
15	浜松	5,849	73	1.25	5,320	67	1.26
16	中部	10,380	124	1.19	10,329	115	1.11
17	旭	4,739	46	0.97	4,737	58	1.22
18	大阪	20,377	167	0.82	21,259	121	0.57
19	関西	17,239	80	0.46	17,763	145	0.82
20	神戸	6,661	11	0.17	6,882	45	0.65
21	和歌山	7,286	46	0.63	7,564	56	0.74
22	山陰	7,437	164	2.21	7,357	50	0.68
23	岡山	7,131	105	1.47	7,396	66	0.89
24	中国	9,088	22	0.24	8,861	15	0.17
25	山口	5,396	47	0.87	5,142	47	0.91
26	香川	9,262	38	0.41	9,738	34	0.35
27	愛媛	3,771	2	0.05	3,447	14	0.41
28	九州	10,190	76	0.75	9,913	77	0.78
29	門司	3,197	15	0.47	3,016	13	0.43
30	長崎	5,822	52	0.89	5,873	45	0.77
31	熊本	9,087	59	0.65	9,184	52	0.57
32	医療り八	553	8	1.45	513	8	1.56
33	せき損	1,073	20	1.86	1,157	36	3.11
34	道せき損	1,597	21	1.31	1,484	24	1.62
合計		245,097	1,906	0.78	244,395	1,813	0.74
平均	500床以上	15,604	108	0.69	15,844	113	0.72
	400床以上	8,965	59	0.65	9,041	53	0.58
	300床以上	6,366	57	0.90	6,345	52	0.82
	300床未満	2,514	25	0.99	2,299	22	0.96